

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：あいみー溝口保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 永尾 麻千子	定員（利用人数）：30名（利用者29名）
所在地：〒213-0001 川崎市高津区溝口3-14-4	
TEL：044-455-6911	ホームページ： <a href="https://aime.ed.jp/school/mizonokuchi/">https://aime.ed.jp/school/mizonokuchi/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：あいみーキッズ株式会社	
職員数	常勤職員：11名 非常勤職員：4名
専門職員	園長：1名 保育士：10名
	看護師：1名 調理師：1名（常勤）
	栄養士：2名（非常勤）
施設・設備の概要	保育室：4 トイレ：3
	調理室：1 事務室：1
	園庭：無 沐浴室：1
	調乳室：1

③ 理念・基本方針

【保育理念】

- ・健康、安全などに必要な基礎的な習慣を養い、生命の保持及び情緒の安定を図る。
- ・人に対する愛情と信頼感、人権を大切にする心を育てると共に自主性、協調性の態度を養い道徳性の芽生えを培う。
- ・保育生活の中で様々な体験を通し豊かな感性を育て、想像力、思考力の芽生えを培う。

【保育方針】

1. 思いやりの心を育てる。
2. 健康なからだを育む。
3. 自主性と意欲を養う。

【保育目標】

- ・思いやりのある素直な子
- ・心身共に豊かな子
- ・意欲を持って自分で考え行動できる子

④ 施設・事業所の特徴的な取組

あいみー保育園では、「子どもたちの安全を守ること」「質の高い保育を実施すること」を最重要課題と位置づけ、全職員が共通の意識を持って取り組んでいます。社内外の研修を計画的に実施し、緊急時対応や保育実技など多様なテーマに沿って学ぶ機会を提供することで、職員一人ひとりの専門性向上を図っています。また、「子どもたちのためにできることは何でもやる」というポジティブな姿勢で、職員一同が心を

一つに保育にあたっています。小規模園の特徴を活かし、家庭的で子どもたちがきょうだいのように関わり合える温かな雰囲気づくりを大切にしています。

保育の特色として、週2回外国人講師による英語レッスンを実施し、英語の歌や日常会話に親しむ機会を設けています。レッスン以外にも、散歩や季節のイベントに講師が参加することで、自然なかたちで英語に触れる環境をつくっています。さらに、リトミック教室や歌・リズム遊びを取り入れ、子どもの感性や表現力を育てています。

地域支援の取組として、毎月「プティあいみーおひさまクラブ」を開催しています。定員に達することも多く、育児のリフレッシュの場として好評で、リピーターとして継続的に参加している家庭も増えています。地域の子育て家庭とつながりを持ち、園としての役割を積極的に果たしています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年4月9日（契約日）～ 令和8年1月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)全職員ですべての子どもを見守る体制を構築しています

園長は、一人ひとりの子どもの思いを受け止め、気持ちに寄り添って保育にあたることを職員に伝えています。毎月の職員会議では、各クラスの子どもの様子を報告し合い、職員間で連携を図りながら全職員で全園児を見守る体制づくりに努めています。職員は、子どもたちのありのままの自分の姿を受け止め、英語教室や体操教室をはじめとする様々な体験を提供し、伸び伸びと園生活を送れるように支援しています。

2)アクションカードを活用しています

トラブルや事故など緊急事態が発生した場合に、瞬時にその場の状況を把握し、被害の最小化を図る「アクションカード」を作成しています。カードには、110番通報、119番通報、看護師対応、AED活用、保護者・本部へ連絡など、緊急事態の種類ごとにカード化し、誰もが混乱せずに適切、かつ、責任をもって行動ができる初動対応を整えています。

3)食の体験を通じて、豊かな心を育てています

栄養士を中心に年間食育計画と指導案を作成し、発達年齢に応じた食育活動を推進しています。夏野菜の栽培・収穫・調理・喫食の一連の流れを体験することで、命の大切さを学び、楽しみながら食への興味を深めています。給食タイムでは、3歳児が4、5歳児にたくさん食べたことを報告し、4、5歳児は拍手で称賛する活動が自然と生まれました。達成感から自己肯定感の基礎を培い、思いやりの心が芽生えるよう支援しています。これらの食に関する活動全体を通じて、子どもの豊かな心を育てています。

4)園の自己評価から事業報告・計画、及び理念につなげるPDCAサイクルの活用が期待されます

保育者の自己評価は毎年実施し、評価結果は、園内掲示やWeb上で公表しています。今後は、この保育者の自己評価や行事後に行う保護者アンケートの結果を職員参画で園全体の自己評価に反映し、事業報告・計画に継続的に反映するPDCAサイクルを構

築し、職員の合意形成で取り組むことを期待します。

5)マニュアルの再整備が期待されます

保育の実施に関わる各種マニュアルを作成し、保育実践の標準化を図りつつ、一人ひとりの子どもの状況に沿った保育を行うことを共通認識として保育実践につなげています。日々の保育の中での職員による気づきにより、各マニュアルの見直しを適宜行い、年度初めの職員会議では、各マニュアルの再確認を行っています。園では、マニュアルに記載すべき事項を精査して再整備を進めており、今後のさらなる取組が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園から丸5年が経ち、このたび第三者評価を受けさせていただきました。

評価対象となるさまざまな項目について、職員全員で一つひとつ話し合い、見直し、確認していく過程は、自分たちの保育に対する思いを改めて振り返る大切な時間となりました。

また、保育施設としてのサービスの在り方や利用者の皆さまのニーズに思いを馳せるとともに、各種マニュアルを再確認する貴重な機会にもなり、大変有意義で学びの多い時間となりました。

これまで「あいみー溝口保育園」として歩んできた中で培ってきたものを大切にしながら、これからも大人も子どもも安心して過ごせる、そしてわくわくと楽しい保育園であり続けられるよう、職員一同力を合わせてまいります。

最後になりましたが、保護者の皆さまにはアンケート等にご協力いただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり